

平成 27 年入学者選抜の概要（三重県教育委員会HPより）

三重県立いなべ総合学園高等学校

前期日程

2月 9日（月） II類[総合問題A・総合問題B・芸術（美術 書道）]

2月10日（火） I類・II類（体育）

後期日程

3月11日（水）

《いなべ総合学園高等学校》

学 校 の 特 色

- 本校は全国でも有数の大規模総合学科高等学校として、平成13年度に開校しました。北勢地区唯一の総合学科高校として、生徒の多様な進路希望が実現できるよう、170余りの多様な科目を開設しています。
- 1年次の「産業社会と人間」、2・3年次の「IVYタイム（総合的な学習の時間）」では、生徒一人ひとりが自分の進路を選択し、進路希望に合わせて科目を選択できるよう、チューターによるきめ細かな指導を行っています。また、社会人講師による講演や実習などによるキャリア教育の充実、地元の大学との連携授業による進学指導の充実にも力を入れています。
- 本校生徒の進路先は、大学・短大が約40%、専門・各種学校が約20%、就職が約40%で、特色ある学びのシステムにより、幅広い進路実現を可能にしています。
- 部活動もとても盛んで、充実した施設設備を活用して、多数の運動系クラブが全国大会、東海大会、県大会等に出場し、好成績を残しています。文化系クラブも地域に貢献する活動を積極的に行うなど、明るく生き生きとした学校の雰囲気を作り出しています。
- いなべ・東員地区唯一の高等学校として、地域に根ざし開かれた信頼される学校を目指して「公開講座」を実施するなど、生涯学習の拠点としての役割も担っています。

選抜において重視する要件

(総合学科)

【総合的観点】

- ◎ 基本的な生活習慣が身につけており、本校のカリキュラム・学習内容・部活動等教育活動全般に対して強い興味・関心をもつ者で、かつ入学後、意欲的に学校生活を送る意志のある者

【個別観点】

『学習について』

- 国語・社会・数学・理科・英語・芸術・体育等の各教科に関わって、優れた資質をもち、得意分野の中から入学後も学習活動に意欲的である者
- 全ての教科に対して真面目に学習活動に取り組める者

『部活動について』

- 県大会等で優れた実績があり、入学後もその活動を継続して行う意志のある者
- 個々の部活動において、3年間継続して活動する意志のある者

『学校生活について』

- 生徒会活動・学級活動で実績のある者
- ボランティア活動・人権活動に積極的に取り組める者

『進路について』

- 将来、地域社会の一員として社会貢献をする意欲のある者
- 向上心をもって自分の夢の実現に努力する者
- 四年制大学に進学を希望し、意欲的に学習に取り組める者

《いなべ総合学園高等学校》

学科名	検査	実施概要		
総合学科	I	面接	個人面接（1分の自己アピールを含めて10分程度） 総合学科での学習に対する興味・関心や意欲、進路に関する目的意識等について応答する。	
		作文	55分・800～1000字	
	II	作文	45分・600～800字	
		次のいずれか1つを事前に選択する。	実技検査 芸術 (美術)	静物デッサン（休憩を含む120分） 用具：鉛筆、消しゴム（志願者が持参） 用紙：B3ケント紙ボード（高等学校で用意） 静物デッサンについての感想を文章でまとめる。 （静物デッサンの120分のうちの10分）
			実技検査 芸術 (書道)	実技（休憩を含む120分） 用具：太筆、細筆、墨汁、鉛筆、消しゴム、定規、練習用紙（志願者が持参） 用紙：清書用紙（高等学校で用意） 実技の作品についての感想を文章でまとめる。 （実技検査の120分のうちの10分）
			実技検査 体育	1 共通検査： 25m往復走、反復横跳び、立ち幅跳び、長座体前屈をすべての志願者に課す。 2 選択種目検査： ① 次の種目から、志願者が事前に選択した1種目とする。 陸上競技(100m走、800m走、砲丸投げ、走り高跳び、走り幅跳び)・ サッカー・バスケットボール・バレーボール・卓球・バドミントン・ ソフトボール・器械運動(マット運動)・剣道・レスリング・ゴルフ・ ハンドボール・ソフトテニス ※陸上競技は、()内の5種目から1種目を選択する。 ② 内容は、基本的な技能・技術・動作を中心とする。
総合問題	次の2分野（A・B）の中から1分野を事前に選択する。 A：（国語・社会・英語）60分 B：（数学・理科・英語）60分			

学科名	選抜方法
総合学科	I
	1 選抜資料の取扱い
	(1) 調査書 点数化する。
	評定（第3学年の各教科の評定の合計を2倍） 90点満点
	学級活動・生徒会活動、スポーツ・文化・ 社会活動の実績、取得資格 最高 10点
	合計 100点
	(2) 面接 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点）
	(3) 作文 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点）
	2 選抜方法
	(1)～(3)の合計点数をもとに、面接及び作文の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。
	II
	1 選抜資料の取扱い
	(1) 調査書 点数化する。
	① 第3学年の各教科の評定の合計 45点満点
	② 学級活動・生徒会活動、スポーツ・文化・社会活動の実績、取得資格 最高10点
	(2) 作文 A、B、C、Dの4段階で評価し、点数化する。（10点満点）
	(3) 総合問題または実技検査 90点
	2 選抜方法
	(1)①の評定得点と(1)②、(2)及び(3)の合計点数の2つをもとに、作文の評価並びに調査書及び「自己推薦書」の記載事項を考慮して総合的に選抜する。